

篠岡神社報

「篠岡」について

皆さんがお住まいのこの小牧市東部は、ご存知の通り「篠岡地区」と呼ばれています。この「篠岡」は、どのような経緯で成立した地域なのでしょう。



小牧市の構成(小牧区長会 HP より)

「篠岡」の地名の由来は、明治三十九年に遡ります。当時のこの地域にあった陶村Ⅱ上末と下末、池林村Ⅱ池之内と林、大野村Ⅱ大山と野口、大草村が合併し、篠岡村が誕生しました。この中で上末、下末、池之内、林は「味岡庄」、大草、大山、野口は「篠木庄」と言う中世に荘園が置かれた当時その二つに属した事から、味岡の「岡」、篠木の「篠」の一字ずつを取り、「篠岡村」となりました。これは所謂「合成地名」と言うもので、近隣で有名な地名として豊山

町が挙げられます。豊山町は豊場村と青山村が合併し、その一字ずつを取り現在の町名となっており、この様事例は全国的に見られるもので、先に記載した「池林村」や「大野村」も同様です。尚「陶村」は、平安時代中期の辞書「和名類聚抄」に記載のある尾張国内の陶器の産地「主恵郷」を由来とするものとされます。

また、篠岡村は成立から廃止までの間、東春日井郡に属しました。東春日井郡は明治十一年発足の春日井郡が明治十三年に東西に分割されて成立した郡で、現在の小牧市、春日井市、守山区、尾張旭市、瀬戸市の大部分とほぼ一致し、名東区、千種区の一部も含まれます。篠岡村は昭和三十年に小牧町等と合併し小牧市となった事で東春日井郡所属ではなくなり、また当郡自体、昭和四十五年の尾張旭市(それまでは旭町)の市制移行で消滅しました。七十歳以下の方では東春日井郡と言う呼称を使う方もなかなか見えないかと思えます(裏へ)

上末 八幡社
大字上末字新田一二五番地
下末 天満天神社
大字下末字天神前一四七五番地

池之内 八幡神社
大字池之内字雨作六三一番地

林 三明神社
大字林北一〇一番地の一

野口 白山社
大字野口字神尾前二八七七番地

野口 神明社
大字野口字勾当田二五七七番地

野口 八幡社
大字野口字惣門二二〇七番地

大山 児社
大字大山字郷島四一二番地

発行 加藤祐佑
宮司 加藤祐佑
〇五六八・七七・四三二〇
ホームページ「東春日井神社考」



(続き)が、「東春信用金庫」、「東春酒造」等の会社名として残っています。

先述の「主恵郷」は現在の上下末、と言う説は、主恵郷が当時の山田郡内であった事から当職としては懐疑的で恐らく千種区尾張旭市にかけての何処かであると考えています。それを差し引いても篠岡古窯群や正福寺(大山西院)の存在を見るに、篠岡地区には古くから人が住む歴史のある地域であると考えています。

参考文献：篠岡村誌

祭典予定

十二月

二十二日天満天神社月次祭

一月

一日 池之内八幡神社歳旦祭

野口白山社歳旦祭

兒社歳旦祭

野口神明社歳旦祭

三明神社歳旦祭

野口八幡社歳旦祭

上末八幡社歳旦祭

天満天神社歳旦祭

二月

二日 池之内八幡神社厄除祈禱

上末八幡社厄除祈禱

天満天神社各種祈禱

九日 野口神明社厄除祈禱

三月

二十三日野口神明社祈年祭

三明神社祈年祭

池之内八幡神社祈年祭

天満天神社祈年祭

野口八幡社祈年祭

※日程は変更になる場合があります。最新の予定及び詳細な時間は公式サイトをご覧ください。

お知らせ

正月期間授与所開設について

お正月期間の御守等の授与については左記の通りとなります。

上末八幡社：一日午前のみ有人、十五日頃迄無人にて対応。

天満天神社：一日零時より正午頃迄有人、十五日頃迄無人にて対応。

※両社とも無人対応は野菜の無人販売所のような形式です。

新年団体祈禱について

下末の天満天神社では、企業・団体向けの新年祈禱を予約制にて執り行います。詳しくは公式サイトをご覧ください。

厄除等の祈禱について

池之内、上末、野口の各神社に於ける厄除祈禱は、地域回覧での募集により上記祭典

予定の通りに執り行います。

下末天満天神社については下末在住でない方も当日申込が可能で、厄除、家内安全、合格(学業成就)祈禱を執り行います。詳しくは十二月中旬以降に公式サイトをご覧ください。

天満天神社拝殿前改修報告

本年八月、下末の天満天神社では拝殿から蕃塀までの間の地面の洗い出し施工を行い、車椅子等によるスムーズな移動が可能となりました。蕃塀の東西いずれかに車を寄せていただく、砂利の上を移動する必要がありません。車、車椅子での段差への乗り上げ、蕃塀への接触にはご注意ください。



次回発行予定について

「篠岡神社報」次号 007号は、三月中旬頃発行予定です。